



令和7年3月25日

Press Release

## 亀山版 J-クレジット創出事業について

亀山市は、令和5年7月10日に『カーボンニュートラルなまち「健都かめやま」の構築に向けた連携協定』を「西日本電信電話株式会社三重支店」「NTTアノードエナジー株式会社東海支店」と締結しており、脱炭素社会への貢献、SDGsの推進及び地域レジリエンスの強化に資することとしています。

そのような中、連携協定の取り組みの一つとして森林経営管理制度により市が経営管理している個人所有林等を活用し、森林由来のJ-クレジットの創出及び販売等に取り組むため、今月3日に「西日本電信電話株式会社三重支店」「株式会社地域創生C o デザイン研究所」「亀山市」の3者で協定を締結しました。本取り組みは、私有林を活用する点で国内でも先進的な事例であり、令和7年度からJ-クレジット創出に向けた準備を、令和8年度から販売を開始する予定です。

森林経営管理制度は、森林所有者による適切な経営管理が困難な森林について、市が主体となり経営管理の確保を図る制度です。亀山市では森林環境譲与税を活用し、本制度に関する取り組みを令和元年度から進めており、間伐の実施により、森林の持つ多面的機能の維持発揮に努めています。

一方で、J-クレジットは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。認証されたクレジットは企業等に売却することができ、収益を得ることができるだけでなく、企業等のCSR活動やカーボン・オフセットの取り組みに貢献することができるものです。

今後も、環境と産業が調和した持続可能なまちづくりを推進し、循環型社会に寄与してまいります。